

ふるさと歴史アラカルト

岩国城① 関ヶ原の戦い

岩国の城下町は、江戸時代に吉川氏によってつくられたものですが、その中でも錦帯橋は一年を通じて多くの人々が訪れる特になじみの深い存在だと思えます。錦帯橋は延宝元（1673）年、城下町であった錦見（現在の岩国）と横山を結ぶ橋として架けられたものですが、なぜ吉川氏がこのような大規模な橋を架けたかについては、当時の歴史のことを知らなくてはならず、そのためには岩国城の歴史は欠かすことはできません。今回からは、数回に分けて岩国城の歴史について紹介します。

天下を統一した豊臣秀吉の死後、政治的に大きな影響力を持ち始めた徳川家康と、その勢いを止めようとする石田三成などの対立が表面化しました。そして慶長5（1600）年、家康（東軍）と三成（西軍）を中心とした関ヶ原の戦いが起こることとなります。このとき、五大老の一人として中国地方を支配していた毛利輝元は、石田三成

や毛利氏の外交を担っていた安国寺恵瓊などの要請によって西軍の総大将となっていました。しかし、輝元のとこにあたる吉川広家は、毛利氏の重臣である福原広俊と計り、輝元に無断で東軍の家康側と講和をします。内容は、毛利氏の領国112万石が保障されることを条件として、毛利軍は関ヶ原で参戦しないというものでした。

慶長5年9月15日、関ヶ原の戦いは幕を開け、南宮山の毛利軍は動かないまま、西軍の小早川秀秋などが東軍へ寝返ったこともあり、東軍の勝利で幕を閉じました。しかしながら、毛利軍は参戦しないという約束を守ったにもかかわらず、輝元が名目上とはいえ西軍の総大将であったことなどを理由に徳川家康によって領国の保障は無効とされてしまいました。毛利氏は断絶こそ免れたものの、周防国と長門国（現在の山口県）29万8480石余に減封されることとなったのです。

岩国徴古館

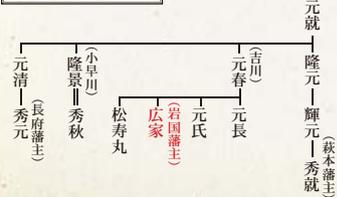
昭和20年に旧岩国藩主吉川家によって建てられ、その後岩国市に移管された市立の博物館

住所：横山二丁目7-19 ☎0452
休館日：月曜(祝日の場合はその翌日)

※当時、毛利輝元は大阪城に入っており、関ヶ原に出陣していたのは毛利秀元、吉川広家、安国寺恵瓊などでした。

5月12日まで岩国徴古館において、企画展『岩国城と錦帯橋』が開催されています。

毛利氏系図(略)



岩国市 人口・世帯

人口 144,483 人

男性 68,480 人 女性 76,003 人

世帯 66,795 世帯

※外国人人口を含む (平成25年3月1日現在)

交通事故発生件数 2月分事故件数 48件(95件) 死者数 1人(1人) 傷者数 58人(111人)

※高速道路発生分を除く

※()内は平成25年累計

広報テレホン

休日在宅医療機関、イベント情報などをお知らせしています。テレホンサービス ☎231234

目の不自由な人へ

「広報いわくに」のカセットテープをお貸しします。音声読み上げのためのテキスト版を、ホームページに掲載しています。

お問い合わせはお気軽に、秘書広報課広報班へ ☎295016 FAX213337